

第10採択地区における学校の調査研究結果

種目： 小学校		【特別の教科道徳】	
	教科用図書	発行会社名	研究結果
1	新しい道徳	東京書籍株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭のオリエンテーションで、「気づく→考える・話し合う→ふりかえる・見つめる→生かす」の授業の流れを提示しており、道徳の時間の心構えを学ぶことができる。 ●教材の冒頭に考えるポイントを示し、末尾には「教材について」と「自分自身について」の考えるポイントが1つずつ記載されている。 ●「考えるステップ」「話し合う視点」が提示している。 ●比較的自由度が高く、多様な教材研究が期待できる。学習内容がはっきりしている。 ●いじめに関する教材を全学年に取り入れ、2教材をユニット形式にして、重点項目としている。また、4年生以上には携帯電話について異なった視点から考える教材を配置し、全学年で情報モラルについて考える教材を取り入れている。 ●「出会う・ふれ合う」「つながる・広がる」「問題を見つけて考える」「いじめのない世界へ」で他人とのつながりやみんなで問題を見つけて考え、話し合う場面が設定されている。
2	かがやけみらい 小学校 道徳	学校図書株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●「読み物」と「活動」の2冊で構成されている。「読み物」の巻頭で道徳のオリエンテーションができるようになってきている。 ●教材の冒頭には、主題が明記され、ねらいが明確化され、話し合いを行いやすくする工夫がある。 ●「活動」では、見開きで、1つの内容項目について考えられるようにしており、1～2教材+特設ページで多面的・多角的な考えが持てるようにアクティブな活動が設定されている。また、書き込むことで、評価としても活用できる。 ●「生命の尊さ」を全学年の重点項目とし各学年3教材を配置している。 ●「情報モラル」「いじめ」に関する教材を全学年に配置し、考え・議論しながら道徳的判断力を高め、自己の生き方について考えを深められるよう工夫されている。 ●「活動マーク」や「読み物マーク」など、何について学習しているのか、どんなことをするのか、マークとして示されていてわかりやすい。
3	小学道徳 はばたこう明日へ	教育出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭のオリエンテーションでは、今の自分について記述させ、巻末の振り返りによって心の変容・自己の成長が実感できるように工夫されている。 ●各教材の冒頭にある「内容項目ごとの導入時の投げかけ」と末尾にある「学びの手引き」により、ねらいを明確にした問題解決型の学習が展開できるように工夫されている。 ●役割演技やモラルスキルトレーニングを全学年に取り入れ、体験を通して道徳的価値の理解を深め、行動化を図ることができるように工夫している。 ●「いじめ」「情報モラル」「生命尊重」の3点に重点を置き、全学年で教材を配置している。 ●別冊「道徳ノート」には、「友達の考え」を記録するスペースが確保されており多様な考えを尊重することができるように工夫されている。 ●ユニバーサルデザインによる紙面構成。レイアウトを工夫し、多様な色覚の児童に対応できるように配色している。
4	小学校 道徳	光村図書出版株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭に道徳の時間を示唆する詩、及び道徳の時間についてのオリエンテーションがある。 ●教材の冒頭に、主題と問いかけがあり、教材を通して学ぶ道徳的価値を明確にしている。 ●教材の末尾にある「考えよう」では、主体的な学びにつながる問いが書かれ、「つなげよう」で、他教科との関連や関連内容の図書紹介、日常生活の意識付けなどを通して、発展的な学習ができるように工夫されている。 ●時期ごとにコラムを設定し、考えを深める工夫がある。 ●「生命尊重」は、各学年3教材ずつ、「いじめ」「情報モラル」は、教材1～2とコラムを組み合わせた「ユニット形式」になっており、自己の生き方についての考えを深められる内容となっている。 ●年間4つの「学習のまとめ」に分けてあり、スパイラルな学びがしやすい。また、まとめの区切りに「学びの記録」があり、子ども自身が学びや成長を振り返ることができる。

第10採択地区における学校の調査研究結果

種目： 小学校		【特別の教科道徳】	
	教科用図書	発行会社名	研究結果
5	小学校道徳 生きる力	日本文教出版 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●「教材」と「道徳ノート」の2冊で構成されている。 ●巻頭のオリエンテーションで道徳の学び方について、「気づく→考え・深める→見つめる・生かす」と示してあり、学び方を明確にしている。 ●「全教材」の冒頭には、それぞれ主題名・導入時発問・あらすじ、末尾には、ねらいに迫る発問・自己について考える発問が記載されている。 ●「道徳ノート」は、1教材1ページずつで教材順になっている。また、自分の考えとともに友達を考えを書き込めるようになっており、多面的・多角的に考えを深められるように工夫されている。 ●「学習の手引き」では、体験的な学習や問題解決的な学習のための手法が記載され、主体的・対話的な深い学びを引き起こす授業展開ができるようになっている。 ●「いじめの防止」を最重要テーマに位置づけ、複数の教材でユニット化し、多面的・多角的に考えられるように配置している。また、「情報モラル」等の現代的課題も学年の発達段階に応じて教材を配置している。
6	小学道徳 ゆたかな心	株式会社 光文書院	<ul style="list-style-type: none"> ●巻頭のオリエンテーションでは、道徳の時間についての心構えが記載されており、「問いをもつ・考える・まとめる・広げる」等、資料の活用の仕方が書かれている。 ●巻末の「学びの足あと」では記述する部分があり、自己の成長を感じることができるようになっている。 ●教材の冒頭では、主題・導入時発問、展開では下段に多面的・多角的に考えさせる問い、末尾には、主題に迫る問い・学びを生かす問いが記載されている。 ●「生命尊重」を重点主題とし、6年間の見通しを持って重点的に取り組めるように配置している。 ●「いじめ」を自分自身の問題として捉えられるような教材選択をし、いじめ防止に主体的に関わる態度を育てるよう工夫している。 ●コラムを全学年に配置し、コミュニケーション能力を高め、よりよい人間関係の構築に向けて発達段階に応じたグループワークを提示している。
7	みんなの道徳	株式会社 学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書が大きいので、文字や絵が大きく、見やすくしている。 ●巻頭のオリエンテーションで道徳の時間についてと自分を見つめるページがある。 ●巻末には1年間の学びを振り返るページがあり、書き込んでいくことで自分の成長を感じられるようになっている。 ●教材には、あえて主題名等記載せず、児童の意識を大切に授業展開になるように工夫している。 ●教材の末尾の「考えよう」と「深めよう」「つなげよう」「やってみよう」「広げよう」のページで、考えを深める投げかけがあり、問題解決的な学習、体験的な学習、話し合いや記述などの多様な学習活動により、多面的・多角的な考えに触れ、自己の生き方についての考えを深められるように工夫している。 ●いじめ問題に対応するための「いのちの教育」を最重点テーマにとらえ、全学年に連続複数時間扱いのユニット形式で配置している。また、「情報モラル」についても、全学年に配置している。
8	小学生の道徳	廣済堂あかつき 株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ●「教材」と「道徳ノート」の2冊で構成されている。 ●「教材」の巻頭に道徳の時間についてのオリエンテーションがある。 ●教材の冒頭に主題、末尾に「考えよう話し合おう」を設置し、主な発問で学習の流れを示している。 ●「学習を広げる」では主題に関わる人物や格言、本の紹介がされ主体的に学び自己の考えを深めることができるようになっている。 ●「道徳ノート」は、同様の内容項目で見開き1ページになるように作られており、内容項目に関する自己の考えの記述と教師の指示で記載内容が決められるようになっている。 ●また、体験を想起したり、役割演技を促したりする活動を設け、道徳的行為に関する体験的な学習が取り入れられるよう配慮している。 ●「生命尊重」に重点を置き、年間3時間を配当している。「情報モラル」については全学年で取り上げ、特に中・高学年には特集ページを掲載している。